

令和6年度 授業改善推進プラン教科別計画【美術科】

学年	作成者	現状分析による課題	具体的な改善策 「いつまでに」 ・ 「どのように」 ・ 「どの程度」	
			短期的な改善策	中・長期的な改善策
1 年	宮野	①制作意欲が高く、まじめに取り組む生徒が多い。 ②その反面、説明を聞く前から自己流で作業をしてしまう生徒や、指示を理解できない生徒もいて、特別な配慮を要する生徒も見受けられる。段階別に課題を選べるようにする。	①1時間ごとの目標を明確にし、その場その場でいまやるべきことを明確化する。 ②お手本や参考作品を多く示し、それぞれの作品の目標規準を視覚的に明確化する。	①学期を通じて全体的な計画をしめし、長期的な計画をたててことを意識させる。 ①作品の進捗表を毎時間書き、自らの制作をふりかえり、次の授業につなげる。 ②作品を完成させることで充実感を味わい、制作意欲につなげる。 ②作品を作った意図や、作品を発表する場を作る。
			①制作手順や制作のポイントがわかるように、板書やプリントを確認させる。 ①制作工程をこまかく区切り、完成までどれくらいの工程があるか生徒自身が明確にわかるように工夫する。 ①1時間ごとの目標を明確にし、その場その場でいまやるべきことを明確化する。 ①次の授業内容を予告し、持ち物を連絡する。係生徒にも前日にきちんと連絡させる。	①学期を通じて全体的な計画をしめし、長期的な計画をたててことを意識させる。 ①作品の進捗表を毎時間書き、自らの制作をふりかえり、次の授業につなげる。 ①作品の制作が遅れている生徒は、自ら申し出て遅れを取り戻すように努力させる。 ①作品を作った意図や、作品を発表する場を作る。
2 年	宮野	①全体的に制作意欲がある生徒が多い。一方で、完成度を高める努力をする生徒と、制作意欲がない生徒の差が大きい。 ②その反面、説明を聞く前から自己流で作業をしてしまう生徒や、指示を理解できない生徒もいて、特別な配慮を要する生徒も見受けられる。段階別に課題を選べるようにする。	①お手本や参考作品を多く示し、それぞれの作品の目標規準を視覚的に明確化する。 ②制作工程をこまかく区切り、完成までどれくらいの工程があるか生徒自身が明確にわかるように工夫する。	①作品の進捗表を毎時間書き、自らの制作をふりかえり、次の授業につなげる。 ②作品の制作が遅れている生徒は、自ら申し出て遅れを取り戻すように努力させる。 ②作品を作った意図や、作品を発表する場を作る。
			①制作手順や制作のポイントがわかるように、板書やプリントを確認させる。 ①制作工程をこまかく区切り、完成までどれくらいの工程があるか生徒自身が明確にわかるように工夫する。 ①1時間ごとの目標を明確にし、その場その場でいまやるべきことを明確化する。 ①次の授業内容を予告し、持ち物を連絡する。係生徒にも前日にきちんと連絡させる。	①学期を通じて全体的な計画をしめし、長期的な計画をたててことを意識させる。 ①作品の進捗表を毎時間書き、自らの制作をふりかえり、次の授業につなげる。 ①作品の制作が遅れている生徒は、自ら申し出て遅れを取り戻すように努力させる。 ①作品を作った意図や、作品を発表する場を作る。
3 年	宮野	①制作意欲が高く、まじめに取り組む生徒が多い。 ②その反面、説明を聞く前から自己流で作業をしてしまう生徒や、指示を理解できない生徒もいて、特別な配慮を要する生徒も見受けられる。段階別に課題を選べるようにする。	①お手本や参考作品を多く示し、それぞれの作品の目標規準を視覚的に明確化する。 ②制作工程をこまかく区切り、完成までどれくらいの工程があるか生徒自身が明確にわかるように工夫する。	①作品の進捗表を毎時間書き、自らの制作をふりかえり、次の授業につなげる。 ②作品の制作が遅れている生徒は、自ら申し出て遅れを取り戻すように努力させる。 ②作品を作った意図や、作品を発表する場を作る。
			①制作手順や制作のポイントがわかるように、板書やプリントを確認させる。 ①制作工程をこまかく区切り、完成までどれくらいの工程があるか生徒自身が明確にわかるように工夫する。 ①1時間ごとの目標を明確にし、その場その場でいまやるべきことを明確化する。 ①次の授業内容を予告し、持ち物を連絡する。係生徒にも前日にきちんと連絡させる。	①学期を通じて全体的な計画をしめし、長期的な計画をたててことを意識させる。 ①作品の進捗表を毎時間書き、自らの制作をふりかえり、次の授業につなげる。 ①作品の制作が遅れている生徒は、自ら申し出て遅れを取り戻すように努力させる。 ①作品を作った意図や、作品を発表する場を作る。